

# 万引対策強化国際会議2017開幕にむけて

## International Conference for Retail Theft Prevention

### ～万引対策はloss preventionの主要な課題～

日本万引防止システム協会(略称:JEAS)  
事務局次長 稲本 義範

平成28年3月11日の常習万引・集団窃盗未然防止 国際サミット2015報告会(以後、国際サミット)に続き、NPO法人 全国万引犯罪防止機構(略称:万防機構)では、来る3月9日と10日東京ビッグサイト会議棟にて「万引対策強化国際会議2017」を開催いたします。アメリカから5名の専門家を招き、その先進的取り組みを参考にしながら、わが国における今後の万引対策の在り方を明らかにし、同じベクトルの下に、万引犯罪に対抗する大きな力の構築を目指しております。

現在、多くの流通の皆様が万引問題の解決のため奮闘されていますが、個社が連携なく対処しているだけでは問題の解決に限界があることは現状が示しているところです。この国際会議を契機として、関係機関の皆様が一層連携を強め、新たな諸対策に緊急に取り組む流れを作ることがこの会議の主目的です。それを踏まえて、今回は事務局サイドの情報をお伝えします。

### より強固な ロスプリベンションを 生むために

かつて高志(越)の国と言われた地域で創業し、善悪不二という仏典に因んだ社名の上場企業がある。このメーカーは1945年の大空襲で工場を焼失し、その後の不況にも耐え抜いて、日本へ世界へと品質の良い製品

を提供している。その製品が軸受となりあらたな製品が世界で誕生している。

善悪不二とは、どのような悪事・失敗でも、人々に学びを与え、人を成長させると考えれば、善と悪の別は、絶対的なものではなくなる。たとえ現象としては違うものであっても、本質を深く見極めれば合への創造を期するものである。万引が発生した場合は、何よりの被害者側である店舗側の救済や支援を優先するとは当然のことであるが、さりとして善と悪を区別するだけの犯罪原因論に終始することだけが全てではない。やはり予防主義・犯罪機会論の視点に立ち、点から線、そして面としての関係者間の情報共有が重要なのである。

過去のあまたの失敗例が示す通り、失敗をお家の一大事、不祥事、あるいは外部に知られたくない恥ずかしいこと、ということではわずかな人で、しかも限られた知識で対応している、抜本的な改善や組織的な学習につながっていかない。そうさせない組織の仕組み作りがロスプリベンション(以下LP)なのである。その意味でLPの我々の文化には損失予防という直訳よりも善悪不二という文字がよく似合う。

先ほどのメーカーは、人づくりのために高校を創り、地域の人々が安寧に暮らせるようにと病院を営んでいる。先見の明を持って地域社会に貢献している。このような企業が各

地にあり、明日への活力の源泉になっている。

今回の国際会議では欧米のLPを学ぶことになるが、我々の社会にはそれに匹敵する。いやそれを凌駕する慈悲・慈愛の精神がある。東西の思想を紡ぐことで流通業の世界で、万引問題を中心としたさまざまなリスクに対する強固な仕組み(情報共有・教育体制)や信頼関係(地域の絆)を生まれることを願っている。

### 志をいただくことの意味

万引対策強化国際会議(以後、国際会議)を開催するには、大会報告書作りまで含めると1,500万円を超える資金が必要である。JEAS理事会では本大会が滞りなく開催できるようにといち早く100万円の支援を決定した。すべての業界、業種、行政が協力的だったとは言えない状況ではあったが、それは弊方の働きか

けや説明力の未熟さに原因があったと思う。そんななかでも出版・書店業界・メディアを中心に、衣料チェーンそして、警備やスーパー業界から志をいただいた。寄付の連絡は何故か携帯にかかってくることが多い。50万円の寄付をされる団体・企業の方も5万円の寄付をいただいた個人も「あの…、あれなんだけどね。わずかなんだけど、国際会議の足しにしてほしいので」とすごく謙遜された声でその一報は届く。一般の企業でこのような活動にお金を出すための社内稟議は大変だと思う。それを含めてお礼を言わせてほしい。

さらにJEASメンバーを中心に広告をお願いしたが、ほとんどの企業がそれに応えていただいた。万防機構の企業広告は設立以来今回が初めてであり、本格的に寄付をお願いするのも初めてだったので、依頼時はなんだかお見合いのような緊張感があった。拝受した浄財もさることながら、その何倍もの志をいただいたことに感謝である。

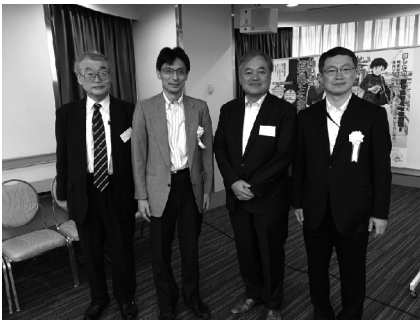
## 心に残るこの1年の足跡

平成28年3月11日東京ビッグサイト会議棟にて国際サミット2015報告会として「大量万引きとどう戦うか～米国事情と最新トレンド」を開催し、日本小売業協会の清水会長様や東京都青少年・治安対策本部 青少年・治安対策本部 廣田本部長様など定員240名をはるかに超える大勢の皆様に参加いただく。立ち見が出るほどの盛況ぶりだった。会場に入れ



なかった方々には大変申し訳なく思う。

平成28年6月16日 万防機構 平成28年度通常総会・意見交換会では、来賓として経済産業省 商務流通保安審議官 住田孝之様、警視庁副総監 山下史雄様(当時)、ヤフー株式会社 コーポレート統括本部 政策企画本部ネットセーフティ企画部 部長 吉田奨様(当時)などが参加され、万引対策の今後について意見交換された。



平成28年7月5日第1回準備委員会が開催される。参加者 委員:竹花理事長、高野理事、桑島理事、戸田理事、石田理事、若松理事、星首都大学東京教授、大手小売業3社、オブザーバー:経済産業省流通政策課、警察庁生活安全企画課、東京都青少年治安対策本部、東京都万引き防止官民合同会議、報道関係多数参加。同年9月9日第2回準備委員会が開催された。



平成28年12月14日本会議の第2回事前説明会が開催された。スポンサー候補の40名近くの方にご参加いただき、活発な要望・質疑があった。なお、12月7日第1回事前説明会は準備サイトで動画配信されている。なお、同サイトではセキュリティ産業

新聞の本会議に関する連載が掲載されている。



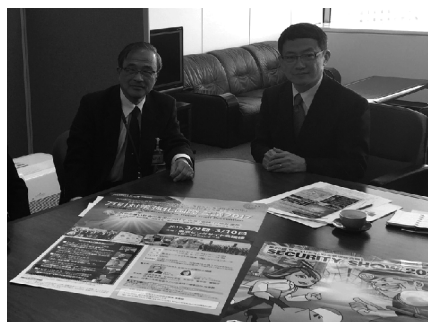
平成29年1月26日日本リテイリングセンターの2017年新年度政策セミナーで、竹花理事長が約660名の流通業の経営幹部の方々に講演。日本リテイリングセンター リサーチ・ディレクター 渥美六雄先生がペガサスクラブ加盟企業に対して調査されたロス対策資料を見ながら、ほとんどの場合、ロス対策は店長任せで、具体的な追求をしていないこと。従業員への防犯アンケートや防犯面での企業連携がほとんどされていない、その状況を丁寧に説明された。エイジスリテイルサポート研究所社長 近江元先生も棚卸毎のロス率の変動を安定化することが重要であること、米国の小売業のロスプリベンションの専門部門と専従役員がいることを図解で説明された。竹花理事長は、それらの問題の解決のために、米国から専門家を3月の国際会議に招聘したことを説明した。この日はロスプリベンションの未来が日本の流通業TOPの間で共有される最初となった。



平成29年2月2日 日本チェーンドラッグストア協会 防犯・有事委員に

て 佐藤聖理事が国際会議の説明を行なう。

平成29年2月3日 警察庁生活安全局 山下局長を竹花理事長が訪問。国際会議の内容説明、国際会議に各地の万引対策の関わる官民の方々が多数参加すること、各地の万引対策協議会で防犯情報ネットワークが進んでおり抑止&検挙の成果が出ていること、隣接地域との連携を希望する声があるなどの情報について話し合われた。



平成29年2月8日 日本経済新聞本紙で国際会議が紹介される。この時期、この書店、警備、機器、地域安全の主要な雑誌で国際会議の内容が掲載される。

平成29年2月14日 出版業界をめぐる改正個人情報保護法セミナーに竹花理事長が登壇

平成29年3月1日 全スタッフ最終打ち合わせ会実施。

## 【開催スケジュール予定】

第1日 (午前9時半開会～午後7時意見交換会終了 同時通訳付き)

- 9:30～ 9:40 ●主催団体理事長挨拶
- 来賓挨拶
- 9:40～10:20 ●基調講演「米国万引対策の歴史と現状の課題」  
米国フロリダ大学 リード・ヘイズ教授
- 10:20～11:00 ●テーマ1「米国小売業におけるロス予防の実例」  
クロード・ヴァーヴィル氏  
元小売業リーダ協会(RILA)のLP委員長、  
元ホームセンター大手ロウズ副社長  
(万引・保安対策、在庫管理について)
- 11:00～12:00 ●テーマ2「集団窃盗対策」ドラッグストア大手による協業事例  
eBay元役員 ポール・ジョーンズ氏  
日本チェーンドラッグストア協会
- 12:00～13:00 ●ランチョン・セミナー スポンサー企業 日本電気株式会社
- 13:00～14:35 ●テーマ3「総合スーパーの万引対策 及び  
地域連携による集団窃盗対策」  
ウォルマート社ダイレクター ブレット・デツァ氏  
日本の流通大手
- 14:35～15:05 ●テーマ4「ネット企業の盗品転売防止対策」  
eBay元役員 ポール・ジョーンズ氏  
日本のネット企業
- 15:05～15:20 休憩
- 15:20～17:30 ●総括討議1「日本の万引対策に今何が求められているか」  
(参加者の意見を踏まえ、小売業関係者等による  
パネルディスカッション)
- 17:40～19:00 ●意見交換会 Eat it!(イートイット)東京ビッグサイト店にて

第2日 (午前9時半開始13時30分終了。同時通訳付き)

- 9:30～12:00 ●総括討議2「集団窃盗」対策、盗品処分先対策、ネット企業の盗品転売防止対策、地域連携による万引対策等の喫緊の万引対策に関して、集中検討会議を開催(参加者の意見を踏まえ、専門家などによるパネルディスカッション)
- 12:00～12:15 ●共同宣言発表
- 12:15～13:00 ●記者会見

## 知っておきたい7つの万引専門用語

1	LP	Loss Preventionの略語 ロスにつながることを事前に見つけて被害を最小限に抑える手法
2	ORC	Organized Retail Crimeの略語 組織的に小売店から大量に万引を行う犯罪行為
3	ORCA	Organized Retail Crime Associationの略語 「オルカ」 地域ごとに小売店と警察などと組織的に行われる大量窃盗についての情報共有するために組織された団体で、ORCAの多くはボランティアによって運営されている
4	Booster	「ブースター」 盗み手のこと
5	Fence	「フェンス」 盗品売買者、故買人、盗品買入れ所、卸拠点
6	e-fence	盗品をネットオークションで売ること
7	LPF	The Loss Prevention Foundationの略語 損失防止財団 LPQおよびLPCといった資格制度を有している。ボードメンバーに小売業が多い。